

# インセプションデッキ（自治 体向けカスタマイズ） ガイダンス

〇〇町 〇〇課

2024年11月13日実施

## POINT

サンプルとして、福井県高浜町での事例が入っています。

# インセプションデッキとは

- プロダクトづくりに関わるメンバーが各々の意見を持ち寄って共通認識をつくり出すための大事な質問、もしくは対話の場を指す。
- インセプションデッキの内容は 10個の手ごわい質問で構成される。

## POINT

全員で進めるのが理想ですが、わかっていることは、あらかじめ埋めておいても構いません。ただし、その場合でも書かれている内容の合意は必要です。

# 1. 我々はなぜここにいるのか(意義・ゴール)

- 現状Excelで運用している施設管理業務を kintoneを使いデジタル化することで担当(西山さん)の業務を効率化する。(good)
- さらに、施設に関わる情報を kintoneを通じ各現課に共有することで、組織全体の業務を効率化する。(best)

## POINT

プロジェクトの背景を明確にします。まずはこのレベルで全員が納得しないと先はありません。good(必須)とbest(可能なら)を分けるなど、書きか方は自由に工夫してください。



## 2. エレベーターピッチ(首長に説明するとしたら)

[潜在的なニーズを満たしたり、潜在的な課題を解決したり]したい、

=施設管理における、記録方法を統一し、引継ぎの手間をなく

[対象顧客]向けの、

=建設整備課および、各課の施設管理者

[プロダクト名]というプロダクト(仕組み)は、

=施設MAN

[プロダクトのカテゴリー]です。

=施設管理の記録データベース

これは[重要な利点、対価に見合う説得力のある理由]ができ、

=引継ぎにおける建設整備課および各課の作業時間の削減(10人単位)

[代替手段の最右翼]とは違って、

=ExcelとiReport、施設管理の味方

[差別化の決定的な特徴]が備わっている。

=一か所で完結するシンプルさ

### POINT

自治体で利用した例なので「首長に説明したら」となっていますが、適宜もっとも身近で重要なステークホルダーの方の肩書を使ってください。

### 3. パッケージデザイン(関係者にアピールするとしたら)

[プロダクト名]

=施設MAN

[写真・イメージ]

=今回はなくてもOK

[最高のキャッチコピー]

=困ったらここをみてください！

[ユーザーへのアピールその1]

=過去の記録が全部残っている

[ユーザーへのアピールその2]

=一か所にまとまっている

[関係者へのアピールその3]

#### POINT

内部で利用するプロダクトなど、必ずしもデザインが必要でない場合は、デザインをアピールポイントと呼び変えることでイメージがしやすくなります。

## 4. やらないことリスト

### やること

- 業務を積極的にパターン化する

### やらないこと

- 細かすぎる仕様(過去のルール)を、無理に持ってこようとしない

### あとで決めること

過去データを具体的に、何を、どの程度移行するのか

### POINT

特に、やらないことをこの段階で決めておくことで、時間の節約に繋がります。

# 5. ご近所さんを探せ

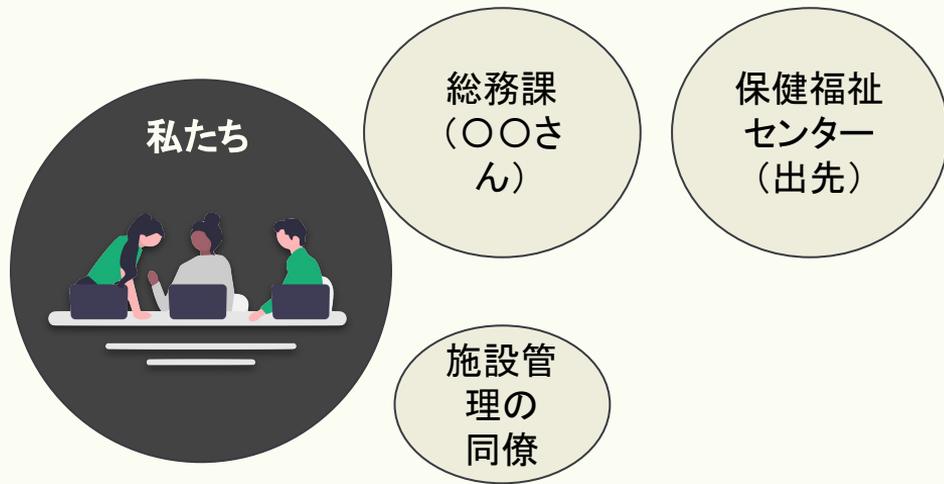
## POINT

ステークホルダー(話を通しておく必要があったり、協力を仰ぎたい人たち)を出しつつ、さらに、重要度(「私たち」からの距離で表現)を全員で合意します。

指定管  
理業者

Example

総務課、建設課、〇〇さん、



## 6. 技術的な解決案を描こう

### 利用デバイス

- スマートフォン  
(iPhone)

### アプリ

- kintone  
(プラグイン)
- kViewer
- FormBridge

### その他

- Excel／CSV  
(既存システムからのインポート・エクスポート)

### POINT

フォーマットは自由です。わかっている限りの採用技術やツールとその構造や制約を書きます。

## 7. 夜も眠れない問題

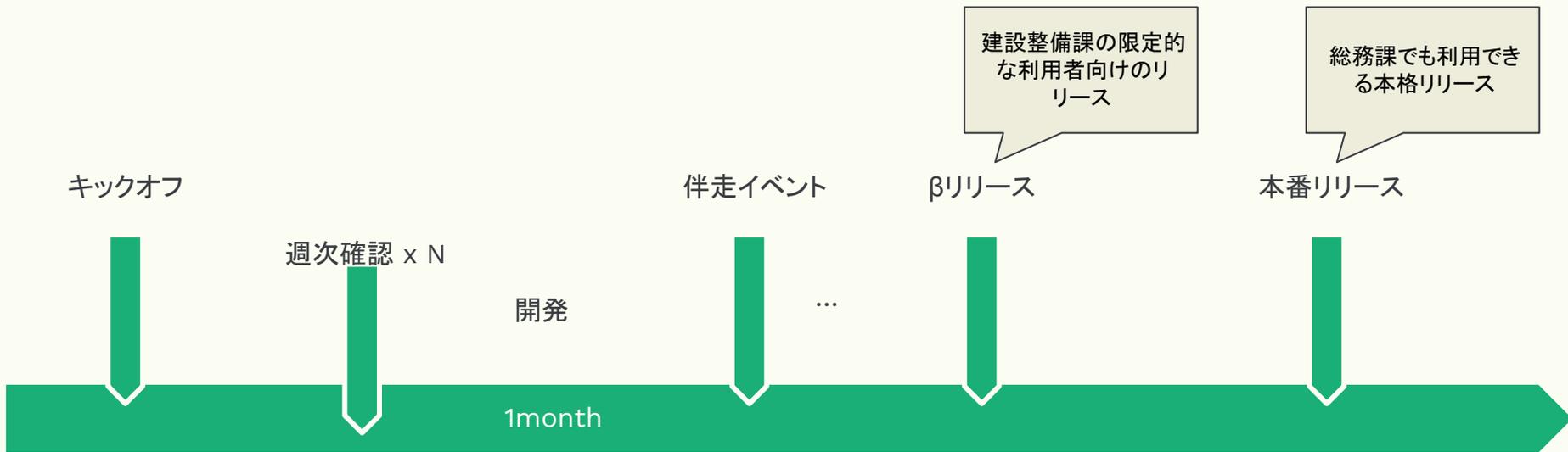
- 関係各部署の理解が得られず、施設MANを使ってもらえない
- 既存Excelフォーマットが非定型でkintoneに簡単にインポートができない(手作業変換が必要)
- 過去データをどの程度までさかのぼらないといけないのか決めたり、実際に変換する手間が怖い

### POINT

正直に「やばい話」をしてください。



# 8. 期限を見極める



2024/11/13

初回  
2024/11/19

2024/12/13

2025/1末

2025/3末

**POINT**

マイルストーンを明確にします。

月に一度の伴走イベントをリズムの起点とした繰り返し型の開発

# 9. トレードオフライダー(何を優先するか)

スコープ(機能を全部揃える)



納期(期日までに完成させる)



品質(バグを出さない)



新技術の習得(学びが多いか)



## POINT

優先度を全員で合意します。全てがMAXにならないように。項目は自由に設定して構いませんが、品質・納期・スコープは必須と考えてください。

# 10. 何がどれだけ必要なのか

- kintoneライセンス: 2025年3末時点で総務課が全員使えること ○
- インターネット環境に接続された PC(かつ、独自のプログラムを配備できる) △

## POINT

ヒト・モノ・カネ・情報の切り口で考えるとわかりやすいでしょう。



# 参考文献・資料

- [Agile Studioの解説ページ](#)
- [アジャイルサムライー達人開発者への道](#)